

令和元年度学校評価結果について

早春の候、心なしか陽光にも春の気配が漂う頃になりました。

平素は本校教育にご理解、ご支援を賜りありがとうございます。

さて、本年度も本校の教育活動について評価をしていただきました。結果をご報告するとともに、次年度の実践に生かしたいと考えております。今後とも温かいご支援をよろしくお願いいたします。

アンケート結果表について

○29の質問項目を「学校生活」「確かな学力」「豊かな心」「たくましい身体」「家庭学習の充実」「教育環境の整備」という6つの観点にまとめ報告します。

○評価結果の見方

A：思う B：少し思う 網掛けの欄は3年間で一番高い数値を示した年度です。

○平成29年度、平成30年度、令和元年度の比較はA・Bの合計ポイントによる比較です。

【学校生活】

	評価者	評価内容	R1	H30	H29
			A・B	A・B	A・B
1	生徒	楽しく学校生活を送っている。	93%	91%	94%
	保護者	楽しく学校生活を送っている。	94%	95%	93%
2	生徒	体育祭やミュージックフェスティバルなどの学校行事に熱心に取り組んでいる。	97%	98%	97%
	保護者	体育祭やミュージックフェスティバルなどの学校行事に熱心に取り組んでいる。	97%	97%	97%
3	生徒	学校だよりやホームページで学校の様子がよく分かる。	89%	82%	84%
	保護者	学校だよりやホームページで学校の様子がよく分かる。	87%	89%	89%
4	生徒	友だちや先生、地域の人にあいさつができています。	99%	97%	97%
	保護者	友だちや先生、地域の人にあいさつができています。	95%	96%	94%
5	生徒	交通ルールを守って登下校している。	99%	99%	98%
	保護者	交通ルールを守って登下校している。	98%	97%	98%
6	生徒	生徒会活動（専門部活動）に意欲的に取り組んでいる。	97%	94%	95%
	保護者	生徒会活動（専門部活動）に意欲的に取り組んでいる。	93%	90%	90%

○ 3年間の比較

令和元年度に最高値を記録した項目が増えてきました。多くの生徒が、学校生活を楽しいと感じているようです。今後も学校行事などを中心に、自他の成長が感じられるような取組を進めます。昨今、話題となっている携帯・スマホの使用については、毎月SNS利用を中心にアンケートを実施し、利用マナーの向上を目指した取組をしています。また、校内はもちろん、家庭・地域でも気持ちの良い「あいさつ」ができることを目指した生活交通部の取組をはじめ、様々な場面で生徒会が中心となって活動を進めています。

【確かな学力】

	評価者	評価内容	R1	H30	H29
			A・B	A・B	A・B
7	生徒	授業は分かりやすい。	95%	91%	90%
	保護者	分かりやすい授業がなされている。	90%	92%	90%
8	生徒	自分は授業に集中して取り組んでいる。	97%	98%	97%
	保護者	お子さんは、授業に集中して取り組んでいる。	93%	92%	89%
9	生徒	教育機器（ICT）や班学習が活用されて、授業は楽しい。	93%	90%	93%
	保護者	教育機器（ICT）や班学習が活用されて、楽しい授業がなされている。	93%	94%	93%
10	生徒	数学や英語での少人数授業や複数指導は分かりやすい。	86%	91%	91%
	保護者	数学や英語での少人数授業や複数指導は分かりやすい。	99%	89%	82%
11	生徒	よく練習してから「おの検定」に取り組んでいる。	80%	82%	83%
	保護者	よく練習してから「おの検定」に取り組んでいる。	79%	82%	80%

○ 3年間の比較

本校では「教えて考えさせる授業」の実現に向け授業改善に取り組んでいます。アンケート結果からは、わかりやすい授業が展開され、生徒も集中して授業に臨んでいる様子が見えてきます。また、ICT機器の積極的活用や班学習を通じた学び合いの実践も、多くの生徒から高評価を得ています。今後も「教えて考えさせる授業」のさらなる進化を目指して授業改善に取り組んでいきたいと考えています。あわせて、「おの検定」の取組による基礎基本の習得と、少人数指導の在り方についての理解深化の充実に向けて検討を進めます。

【豊かな心】

	評価者	評価内容	R1	H30	H29
			A・B	A・B	A・B
12	生徒	道徳の授業では、自分の思いや考えを発言している。	78%	85%	81%
	保護者	自分の思いや考えが発言できている道徳授業がなされている。	88%	91%	87%
13	生徒	相手の立場や気持ちを考え、いじめをなくすように意識している。	99%	96%	96%
	保護者	相手の立場や気持ちを考え、いじめをなくすように意識している。	97%	100%	97%
14	生徒	相手を大切にする思いやりの心が育ってきたと思う。	97%	93%	96%
	保護者	相手を大切にする思いやりの心が育っている。	97%	97%	96%
15	生徒	人権旬間や人権フィナーレの取組は人権について考える機会になっている。	98%	96%	98%
	保護者	人権旬間や人権フィナーレの取組は人権について考える機会になっている。	96%	94%	97%

○ 3年間の比較

人権旬間や人権フィナーレなどの取組により、人権意識の向上がはかられ、いじめを許さない心情や態度、相手の立場や気持ち思いやる姿勢が高まっているのが見て取れます。本校では、教育全般を通して道徳教育を充実させ、その要として道徳の時間を位置づけています。授業では自分の考えと他者の考えを比較し、その違いを知ることが大切になっています。それ故に、今回、発言への意欲の面で後退傾向が見られた点を重視しています。来年度に向けて、より一層活発に意見を交換しあえる対話的な道徳授業の構築を図るとともに、心情に語りかける題材の選定や体験的活動の推進などを通して、あたたかい心情の育成を目指します。

【たくましい身体】

	評価者	評価内容	R1	H30	H29
			A・B	A・B	A・B
16	生徒	部活動に熱心に取り組んでいる。	94%	95%	94%
	保護者	部活動に熱心に取り組んでいる。	96%	96%	93%
17	生徒	部活動の活動内容や活動時間は適当である。	88%	84%	79%
	保護者	お子さんの部活動の活動内容や活動時間は適当である。	87%	87%	82%
18	生徒	朝ごはんを毎日食べている。	96%	94%	94%
	保護者	朝ごはんを毎日食べている。	96%	93%	94%

○ 3年間の比較

昨年度示された新しい部活動のガイドラインに従って実施した、活動方針や各部の練習計画の見直し定着してきています。休養と活動のバランスから生まれる時間的な余裕が、集中力を高め、より質の高い練習を実現していけると考えています。更なる部活動への意欲向上につながるよう、今後も取組を継続していきます。また、食育新聞やアンケートなどの取組により、朝ごはんの重要性への理解が一層深まっています。バランスの良い食事を意識させる取組も継続して進めていきます。

【家庭学習の充実】

	評価者	評価内容	R1	H30	H29
			A・B	A・B	A・B
19	生徒	メールやブログ、インターネットなど、約束事を決め適切に使用している。	93%	89%	85%
	保護者	メールやブログ、インターネットなど、約束事を決め適切に使用している。	79%	79%	80%
20	生徒	寝る時間や起きる時間を決め、睡眠時間を確保している。	86%	80%	75%
	保護者	寝る時間や起きる時間を決め、睡眠時間を確保している。	77%	73%	75%
21	生徒	毎日時間をきめて家庭学習に取り組んでいる。	82%	76%	77%
	保護者	毎日時間をきめて家庭学習に取り組んでいる。	69%	70%	70%
22	生徒	学校の課題以外に苦手科目の復習等、自主的な学習をしている。	79%	79%	79%
	保護者	学校の課題以外に苦手科目の復習等、自主的な学習をしている。	61%	65%	59%
23	生徒	学習の手引きや家庭学習プロジェクト冊子を活用して学習に取り組んでいる。	58%	55%	58%
	保護者	学習の手引きや家庭学習プロジェクト冊子を活用して学習に取り組んでいる。	58%	65%	56%

○ 3年間の比較

南中 SNS ルールなどの取組により、大多数の生徒にとっては、ネットや SNS の利用ルールが守られ、適切に使用されているようです。睡眠時間や家庭学習への悪影響も概ね認められませんでした。家庭学習の習慣化も年々定着してきています。自主的・効果的な家庭学習についても一定の改善が見られますが、家庭学習の手引き、家庭学習プロジェクト冊子を積極的に活用し、より一層学習の質を高めていくことが引き続き今後の課題です。



【教育環境の整備】

	評価者	評価内容	R1	H30	H29
			A・B	A・B	A・B
24	生徒	校内の清掃に熱心に取り組んでいる。	97%	98%	98%
	保護者	校内の清掃に熱心に取り組んでいる。	96%	92%	92%
25	生徒	掲示物や花壇などの環境整備ができています。	89%	90%	87%
	保護者	掲示物や花壇などの環境整備ができています。	95%	95%	95%
26	生徒	先生の授業は、教え方はきめ細やかで、わかりやすい。	92%	88%	83%
	保護者	教え方はきめ細やかで、わかりやすい授業がなされている。	91%	90%	88%
27	生徒	先生は相談によく乗ってくれる。	86%	90%	84%
	保護者	先生は生徒の相談によく乗ってくれる。	92%	88%	87%
28	生徒	夢や希望・目標をもって、それに向かって努力している。	88%	91%	94%
	保護者	家庭で夢・希望・目標に向かって頑張ることの大切さについて話し合っている。	90%	91%	92%
29	生徒	小学生(6年生)とのふれあい行事は、大切だと思いますか。	91%	88%	
	保護者	小野南校区の小中一貫教育は、9か年のカリキュラムを見通した教育となっている。	89%	82%	

○ 3年間の比較

7年～9年を通した縦割り班清掃の取組により、清掃への意識は高く保たれています。自分たちで、学校を美しくしようとする行動やきれいな環境を保とうとする態度は、9年生から8・7年生へと受け継がれ、本校の良き伝統となっています。

指示されたことや決まったことに対してしっかりと取り組もうとするところが、本校生徒の素晴らしいところですが、夢や目標を持つことや、その達成に向けて粘り強く取り組む姿勢に少し課題があるようです。本校区では、キャリア教育(夢をかなえる科)を小中の9か年を通して実施しています。今後は、自己管理能力の育成についても焦点を当て取組を進めます。また例年実施している夢育て講演会なども継続し、夢を持つことの大切さについても伝えていきたいと考えています。

「ふるさとを愛し、世界に学び、未来を切りひらく児童・生徒の育成」が小野南中学校区の小中一貫教育の目標です。その取組は、生徒・保護者の双方から評価され、広く認知されてきたと考えています。今後とも、小中の教師が一体となって、9年間の一貫性・系統性を意識した教育を推進していきます。とりわけ中学校では、「キャリア教育」を重点項目の一つとし、社会的に自立できる生徒の育成に取り組んでいます。また、グローバル化に対応した英語力を身につけるため、「小中学校の外国語教育」も重点項目として研修を深めてきました。Society5.0の例を挙げるまでもなく、社会が大きく変化する時代が目前に迫っています。未来を担う生徒のみなさんには、この変革期に柔軟に対応し、夢と希望を胸に、たくましくしなやかに育ってもらいたいと思っています。本年度も保護者アンケートの回収率は非常に高かったです。ありがとうございました。今回の学校評価結果を真摯に受け止め、さらに子供たちの学力向上・社会性の向上に努めていきたいと思っています。

今後とも、保護者の皆さまのご理解とご協力、また地域の方々のご支援をいただきながら最善を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願ひします。

